

さわやかトカラ情報

十島村教育委員会
〒892-0822 鹿児島市泉町 13 番 13 号
TEL 099-227-9771

南北 160km 「心をつなぎ気概に満ちた」十島の教育

12 月…新教育長

十島村教育長 有村孝一

私は、昨年 8 月 18 日、議会の同意を得まして教育長に任命され、前任者の残任期間であります 1 年 4 か月を務めて参りました。この間、何回ともなく各島を訪問いたしまして、学校を中心にして村の様子をこの目で見て参りました。そして、この 12 月議会におきまして、再任の運びとなりました。

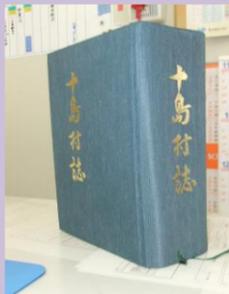
ところで、今回からは、これまでの教育委員会制度が変わりまして、新教育長の任期も 4 年から 3 年になっております。これは、村長が在任中に少なくとも 1 回は自らが教育長を任命できること、いじめ問題などの重大な事案に対して、教育委員会の迅速な対応が取れるようにしたこと等新たな取り組みがなされているところがございます。紙面の都合で多くは述べられませんが、時代の流れの中で、より機能していく教育委員会へということになっています。

さて、村は、私が派遣社会教育主事として勤務していた平成元年から 3 年間とは見違うばかりに変容し、進歩しております。これもひとえに、村行政や住民の方々の努力があったからであり、大いに敬意を表するものであります。

そのような中、村は人口対策を一番の課題に掲げ、人口減少の市町村が多い中におきまして、着実に人口増の実績を上げてきているところがございます。教育委員会としまして、これまでその施策を受け止め、どのように対応できるのかを考えてきておりますし、また、これからも引き続き、対応を検討していくことに変わりはありません。

児童生徒の確保のためには、教職員の人事異動において、できるだけ家族同伴での異動を勧めたり、山海留学制度に寮制度を導入したりするなどの対策が必要となっています。このように、村長部局と綿密な連携を図りながら、村民の皆様方がより暮らしやすい環境づくりや I・U ターンの方々が希望しやすくなる村づくりのために、側面から全力で力を注いでいきたいと思っております。

今後は、タモトユリやトカラ馬等の貴重な文化財の保護、村民ごぞっての体育大会等の実施など、村民の皆様方が一体感を持てるような事業の実施に努めて参りたいと思っております。



一方で村の記録を記載しました「村誌」の追録版も作成しなければならないのではないかと考えているところです。このように、村が変容を遂げてきているとはいえ、まだまだ教育委員会としてやらなくてはならないことは多く残っています。これらの仕事を一つずつやり遂げていくのが、私に与えられたことではないかと考えているところであります。今後ともよろしくお願いたします。

輝 南日本新聞投稿記事から
「文化祭に学ぶ」
平島小学校諏訪之瀬島分校 6 年 岸 泰生

10 月 31 日、文化祭が行われました。僕たち児童生徒は「美しく素晴らしい舞台上で成長した姿を」のローガンのもと、劇や歌などを練習してきました。島民の方々も見ていたので、きん張りましたが、全力で頑張りました。



順番はすぐに回ってきました。頑張ったのが小学生の合奏「生命のいぶき」です。初めて和音の練習をしたときは「文化祭までにひけるかな」と少し心配でした。でも、少しずつできるようになって、文化祭では間違えることなく和音を最後までうまくひけました。そのうまくひけたのも先生たちのおかげなので、感謝しています。また、難しいことでも努力したらできると実感しました。

来年は中学生になります。でも、今年の文化祭のように努力して頑張ればきっとできると思っています。これから大変なこと、難しいことにもチャレンジしたいです。

☆新たに 10 人が新成人に！

12 月がまもなく終わり、新たな年を迎えようとしています。来年 1 月 11 日(月・祝)には、例年通り十島村「新成人を祝う会」が開催されます。今回は十島村立中学校を卒業した 9 人と現在十島村に I ターンで在住されている 1 人の計 10 人の方が新成人となります。出席される新成人は、平島中出身の 3 人と悪石島中出身の 1 人、悪石島在住の 1 人、小宝島分校出身の 1 人の計 6 人です。十島村では、この若い方々が成人を迎えられたことを心からお祝いし、今後



の活躍を祈念いたします。会場は十島村役場 4 階で開会は、当日の午前 10 時から式典、写真撮影、祝賀会と続き、午後 1 時 10 分には、閉会します。

シリーズ——島で暮らす

灯 十島村の学校で生活して
「大好きな自然豊かな島」
宝島小学校小宝島分校 4 年 下川陽翔

「ドキドキ。どんな生き物がいるかな。どんな島だろう。」ぼくは、お父さんの仕事の都合で小宝島に引っこしてきました。到着までにフェリーで 13 時間かかると知って、とてもおどろきました。でも、小宝島に着くとぼくの大好きな自然があつたり島民の方々が温かくむかえてくださったりしたので、とても安心しました。小宝島では、鹿児島でできない遊びが毎日できます。ぼくはよくハブを見つけるのですが、見つけたらすぐに教頭先生に知らせてつかまえてもらっています。今では、友だちから「島のハブとり名人ぐらいハブを見つけられるね」と言われます。また、最近、子牛がうまれました。名前はぼくとおなじ「ひなと」です。ぼくが、島民の方々にお願いしてつけてもらいました。牛の世話も小宝島にきて初めてしました。たくさんミルクをのませるなど、世話すればするほどなついてきてくれるので、とてもかわいいです。



これからの島の生活では、自然や動物とふれあい、小宝島での生活をもっと楽しみたいです。

礼 十島村の子どもたちに温かいプレゼント届く

今年も、事業所等から十島村の子どもたちに心温まるプレゼントをいただきました。

一つは、12 月 15 日(火)に鹿児島市の「吉留建設株式会社」から、今年も 7 島のすべての子どもたちにケーキをいただきました。各島の子供たちは、学校で受け取ったケーキを持ち帰って、各家庭で一足早いクリスマスケーキをおいしくいただいたそうです。

もう一つは、12 月 17 日(木)に、今年も「JA グリーン鹿児島」から十島村の子どもたちに文房具等のクリスマスプレゼントをいただきました。18 日の便で送りますので、この「さわやかトカラ情報」を目にする頃には、子どもたちの手元に届いていることでしょう。プレゼントをされた方々に感謝の気持ちを込めながら、来年もまた頑張っていきたいと思います。2 社の事業所の皆様、子どもたちのために本当にありがとうございます。



訂正とお詫び…「さわやかトカラ情報」10 月号の訂正
Ⓞ久永太陽(悪石島小 1 年) Ⓞ久永太陽(悪石島小 6 年)

風邪を予防する 7 つの習慣

- 1 帰宅したとき、うがい、手洗いをする。
- 2 温度差に合わせてこまめに脱ぎ着する。
- 3 使い捨てマスクをよく着用する。
- 4 十分な栄養と適度な運動をする。
- 5 室内の温度や湿度を適度に保つ。
- 6 タオルは、家族との共有を避ける。
- 7 よく眠る。

この 7 つを守っていれば、完璧ではなくとも、風邪を引きにくくするはず。また、かかっても深刻な状況にはなりにくいと思われ。風邪対策をしっかりして、元気で明るい正月を迎えましょう。

十島村の小・中学校からのメッセージ

中之島小学校教諭 床並 竜児

1 年半前に 800 人の大規模校から全校児童生徒 17 人の極小規模校へ赴任しました。小中併設校という特性から初めて向き合う仕事も多く、勉強の連続でした。

まず、小学校から中学校へと成長していく 9 年間の過程やその発達段階がよくわかります。昨年度は中学校 1 年生の理科の授業も担当しました。小中の学習内容を系統的に教えることができ、小中連携・小中一貫の重要性を感じました。少人数での授業は、自分の指導法を見直すまたとない機会です。発問や板書の仕方一つで、子ども一人ひとりの反応の変化がよく分かり、ちょっとしたつまづきも発見することができて、指導法の改善につながります。

必要なモノがすぐに手に入らない状況もあるので、モノを大切にすることや事前の準備の大切さを意識したり、創意工夫で補う精神が自然と芽生えたりもします。

日常生活では、コンビニなどのお店がないので、ほしいモノをすぐに手に入れることができません。中之島を始め十島村の島々には、手つかずの豊かな大自然が与えてくれる素晴らしい恩恵があります。釣り竿一本で 10kg も超える大きな魚を釣り上げる喜びや野鳥の鳴き声で起きるさわやかな朝、地元の方々がくださる筍やピワ、椎茸、新鮮な魚貝…。ここでしか味わえないぜいたくがたくさんあり、温泉に浸かりながら、その日その日を振り返るまったりとした日常が何ともたまりません。

教師仲間である「あなた」への私からのメッセージ

離島では、教育の課題や生活する上での不便さを感じる事が多くあります。それゆえ、柔軟な発想と行動力で解決していくことが多くなります。教師として、人として、自分の資質を伸ばすまたとない機会が、ここの十島村には、数多くあるのです。